



第2510地区 第11グループ
函館東ロータリークラブ

会報

第3182回 1月28日(火) 2024~2025

本日のプログラム
「節分祭」

小野 一良 会員

次週のプログラム 2月4日(火)
「フラワーアレンジメント」

佐藤 雄喜 会員

- 例会場／ホテル函館ロイヤルシーサイド TEL(0138)26-8181(代)
- 例会日／毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所／函館市新川町1-24 R4TM新川町2F
TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
- 会長／平井喜一
- 副会長／今井義憲
- 会長エレクト／安保裕一郎
- 幹事／番場優
- 副幹事／照井啓太
- 友好クラブ／長崎東ロータリークラブ

つなぐ未来へ

2024~2025年度 会長 平井 喜一



第3181回例会 2025年1月21日(火) 天候 晴

月間テーマ 職業奉仕月間

■ロータリーソング それでこそロータリー

■司会 平井 喜一 会長

■会長報告

1、ロータリー米山記念奨学会より安田会員に第3回米山功労者の感謝状が届きましたのでお渡し致します。



2、理事会報告

■幹事報告

1、第3四半期会費納入のご案内をメールボックスに入れてありますので、今月中にお払い込み下さいませようお願い致します。

2、1月28日午後6時30分から第3回クラブアッセンブリー開催のご案内を理事・役員・委員長・3年未満の会員にご案内させていただきました。ご出席よろしくお願い致します。

3、他クラブ例会変更：1月31日(金)函館五稜郭RC夜間例会となります。

4、長崎東RCの会報を回覧致します。

「北海道に広がるワインづくり」

㈱はこだてわいん 代表取締役 佐藤 恭介 氏

■自己紹介／佐藤恭介 (59歳)

株式会社はこだてわいん代表取締役社長

【家族】妻と娘 (小学4年生)

【趣味】スポーツ観戦

【出身】札幌市 (高校卒業まで在住)

【職歴】1990年 ㈱ヤクルト本社入社

2000年 ㈱ヤクルト本社北海道支店
流通販売企画・営業

2015年 ㈱はこだてわいん

2019年 現職



株式会社はこだてわいん

私たちはワインづくりを通じて、お酒のもつ魅力をお客様に伝え、函館発の食文化として“はこだてわいん”を提案していきます。

- 【設立】1973(昭和48)年
- 【株主】北海道ヤクルト販売㈱
- 【売上高】520百万円(2024年3月期)
- 【従業員数】35名
- 【業務内容】果実酒製造・販売、葡萄栽培
- 【販売商品】年輪、香り仕込みSparkling、北海道100、しばれわいん ほか



■北海道における葡萄栽培・ワイン醸造の歴史

1869(明治2)年

R.ガルトネルが七重に農場開設

- (1) 蝦夷共和国から土地300万坪を99カ年間賃借して、ロシア系農業を家業に日本への西洋農業発祥の地
- (2) 小麦、大麦、キャベツなどの野菜やりんご、ぶどうなどの果樹を栽培

ガルトネルが持ち込んだ葡萄品種(ブラック・プリンブルク)



1870(明治3)年

開拓使がガルトネル農場跡地に『七重葡萄園』開設

- (1) 返根仕立による『ワイン用葡萄』の栽培
- (2) 果実酒の試験醸造



1875(明治8)年

北海道開拓使が生食用葡萄の苗木を配布



1876(明治9)年

北海道開拓使が札幌市に『開拓使葡萄酒醸造所』を開設

- (1) 山葡萄を原料とした『ワイン醸造』を開始
- (2) 1913(大正2)年に廃業

1928(昭和4)年

駒ヶ岳噴火後の復旧の望月牧場で、『山葡萄栽培』を開始

1932(昭和7)年

コップガラナの『小原商店』(㈱小原)が『醸造免許』取得

- (1) 山葡萄を原料とした『ワイン醸造』を開始
- (2) 販路は千島、樺太へ



1943(昭和18)年

国策として『ワインの増産へ』

- ワインに含まれる『酒石酸』が、水中離音機(音波レーダー)の原料



1945(昭和20)年

敗戦により、販路および需要減

- (1) ワイン醸造の停止
- (2) 醸造免許は保持(休止)し続ける

1963(昭和38)年 十勝ワイン創業

1968(昭和43)年
赤穂にてワイン専用葡萄品種の**栽培開始**

- 浅利農園でセイベル種を栽培 (10万㎡に約1万本植栽)

1973(昭和48)年
駒ヶ岳酒造場(株はこだてわいん)創業

- **小野商店**果実酒部門が保有する休眠中の**醸造免許**を使用

1976(昭和51)年
乙部町に**富岡ワイナリー**開設

- 現在の札幌酒精工業(株)乙部ワイナリー

1985(昭和60)年
 はこだてわいんが、**余市町**りんご農家7軒と
 ワイン専用葡萄品種の**契約栽培**を開始

(1) ワイン専用葡萄品種(セイベル、ケルナー)
 (2) 高い栽培技術により多くの**高品質葡萄**を生産
 ⇒現在、後志地方は**国内屈指**の一大産地

1999(平成11)年
奥尻町に**株奥尻ワイナリー**を開設

- 2008年に醸造所を開設

2011(平成23)年
北斗市に**株農楽蔵**が園場を開設

(1) 2012年函館市に醸造所を開設
 (2) **2023年北斗市**の園場内に醸造所を移設

2017(平成27)年
七飯町には**はこだてわいん**が園場を開設

- 2020年ファーストビンテージリリース

2018(平成28)年
サッポロビールが**北斗市**に
株ド・モンテーユ & **北海道**が
函館市に園場を開設

【ド・モンテーユ】2023年**函館市**に醸造所を開設

2020(令和2)年
株DUE PUNYが**北斗市**に園場開設

- 2023年**北斗市**に醸造所を開設

2021(令和3)年
株上ノ国葡萄酒(上ノ国ワイナリー)
 が**上ノ国町**に園場・醸造所を
toroccoが**北斗市**に園場を開設

【torocco】2024年**北斗市**に醸造所を開設

■ニコニコボックス

平井会長 株はこだてわいん 代表取締役 佐藤恭介様、本日は卓話よろしくお願ひします。
 番場幹事 今日もよろしくお願ひします。
 小野会員 初詣参拝ありがとうございました。私も還暦を迎えました。
 佐藤雄喜会員、吉川会員、三輪会員、松山会員、黒島会員、今井会員 今年もよろしくお願ひします。

■広告料

大森稲荷神社 小野一良会員

(有)不動産企画ウィル
 佐藤 真一 会員
 松陰町18-36 電話 35-6235

■北海道におけるワインづくりのいま

【地勢】
 南東～南西向きの**丘陵地**

(1) 日照時間の確保
 (2) 水はけ

【土壌】
 有機物を多く含む
 厚層**アロフェン質黒ボク土**

(1) 火山灰が積層した肥沃な土壌(酸性土)
 (2) 葡萄栽培にはミネラル分が不足がち

【葡萄栽培の有効積算温度】 葡萄の生育の目安

(1) 一定期間の毎日の(日平均気温-10℃)を足し上げた値
 10℃以下は0℃として計算

(2) 4月(萌芽期)～10月(収穫期)の期間が目安

有効積算温度	区分	該当地域	適正ぶどう品種
1,268℃以下	Ⅰ	オホーツカ道 オホshima道 北海道	シヤカド、リースクン、ピノムシカド
1,389～1,496℃	Ⅱ	オホshima道 オホshima道 山根	カベルネ・ソーザルソン、メルロー
1,667～1,914℃	Ⅲ	オホshima道 オホshima道 長野	シラ、サンジョヴァンゼ

※ 有効積算温度はオホshima道の気象観測所である4月1日～10月31日までの日平均気温の合計と
 10℃以下の値を補正した値、1例：日平均気温が20℃の場合(20-10)×47で70℃を算出する。
 ※ 参考：1)オホshima道ワインセンター 1994、2)国土交通省

【行政サポート】
6次産業=ワイン産業

1次産業(農業) = 葡萄栽培
 2次産業(工業) = ワイン醸造
 3次産業(サービス業) = 販売・観光

地域課題の解決に波及効果が大きな産業

街づくり指針の制定 補助金給付 ワインアカデミーの開催

テロワール Terroir 「土地」を意味する
 フランス語terreから派生した言葉

葡萄畑を取り巻く**自然環境要因**のこと。

① 地勢(地形・標高) ② 土壌(地質・水はけ)
 ③ 気象条件(気温、降水量、日照時間)

特定地域、特定の地区、固有の葡萄畑から造られるワインは、
特有の個性を表すという考え方

造り手の想い 歴史・文化

① 葡萄栽培手法 ① 社会環境
 ② 栽培・醸造方法 ② 背景

【成長に向けて】

1. **北海道の食材**とのペアリング
 - 豊富な食材と人財
2. **地産地消**

■ニコニコBOX達成率(目標 1,200,000円)

・本日20,000円 総額646,000円(達成率53.83%)
 ニコニコBOXで頂いたお金は、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕委員会等の資金となります。ご協力よろしくお願ひ致します。

■出席報告

・1月21日(火) 会員32名中 出席18名(欠席14名)

今日の昼食メニュー
 洋食カレーセット

(有)さとう印刷
 佐藤 美子 会員
 湯浜町5-11 電話 52-1601